

課 題	1	新しい時代を担う子どもの育成
重点項目	5	子どもの遊び場・居場所づくり

目的

家庭や地域など子どもの生活領域において、子どもの生活の主要な部分を占める「遊び」や生活体験・社会体験のための環境づくりや居場所づくりをすることにより、子どもたちが地域の中で集団で体をつかって力いっぱい遊び、様々な経験を経ることで、子どもの「育つ力」を伸ばすとともに「生きる力」を養います。

対象・手段

対象) 0歳から18歳未満の子どもとその保護者及び子どもたちを見守り支援する地域住民・団体
 手段) 地域の教育力との協働・連携の推進
 児童館機能の強化と学童クラブ事業の多様化
 学校施設を活用したひろばづくり

重点項目の方向

児童館・学童クラブ及び公園など地域の遊び場の充実を図るとともに、学校施設をはじめとした社会資源を有効に相互利用していきます。
 学校を中心として地域の大人たちが子どもにかかわっていく環境づくりを進めたり、学校跡地を活用したコミュニティひろばづくりも進めていきます。
 ハードの整備とともに、地域の人材を活用した子育ての仕組みづくりや心の居場所づくりにも配慮していきます。

成果指標

指標名		定義		目標水準		
居場所事業への参加児童・生徒数		目標値に対する参加者数		(毎) 年度に (30人) の水準達成		
時間延長対応学童クラブ数		時間延長対応学童クラブ数		(平成19) 年度に (10箇所) の水準達成		
地域検討会開催数		四谷地区協議会四谷ひろばプロジェクト開催数		(平成18) 年度に (6回) の水準達成		
重点項目の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
重点項目 成果指標	目標値1	人		30.00	30.00	
	実績1	人		43.00	33.26	
	目標達成率1 = /	%		143.33	110.87	
	目標値2	箇所		10.00	10.00	
	実績2	箇所		6.00	6.00	
	目標達成率2 = /	%		60.00	60.00	
	目標値3	回		6.00	6.00	
	実績3	回		6.00	6.00	
	目標達成率3 = /	%		100.00	100.00	

主な取組み

地域の教育力との連携事業の実施10団体14事業実施、地域の教育力を考えるフォーラム1回250名参加、情報誌の発行年2回各12,000部発行
 区立小中学校全校で居場所づくり事業実施、延べ716回、24,251人参加(国事業や地域団体との連携事業等を含む)
 各小中学校の総合学習等に講師等地域の人材情報等を提供
 時間延長に対応するため児童指導業務委託を導入する百人町学童クラブ、西落合学童クラブ及び平成19年度より新たに開設する戸山小学校内学童クラブ受託事業者選定プロポーザルと準備委託の実施
 地域が自主管理・自主運営するひろばの運営協議会準備委員会を設置して、アンケート、地域意見交換等実施して、運営の準備

課題

組織基盤の脆弱な団体や組織目標が明確でない団体等、団体の実態にあわせた対応をしつつ、新たな団体の掘り起こしとともにプログラム開発を共同で行う必要があります。また、居場所事業については、効率的運営を進めるため、既存事業との整合性を図る必要があります。
 利用者及び地域関係者の意見要望を反映しながら、効率的でサービスが向上する児童館・学童クラブ事業を実施する必要があります。
 19年度中の四谷ひろば利用開始に向けて、地域住民が主体となる運営協議会を設置する必要があります。継続して安定した管理運営を行う組織とするために幅広い地域団体等の協力が必要となります。

評価

総合評価	
家庭や地域などの子どもの生活領域において、子どもの生活の主要な部分を占める「遊び」や生活体験・社会体験のための環境づくりや居場所づくりをすることにより、子どもたちが地域の中で集団で体をつかって力いっぱい遊び、様々な経験を経ることで、子どもの「育つ力」を伸ばすとともに「生きる力」を養っています。 次世代を担う子どもたちの健全な育成は、地域の大人たちの責務であり、そのことが、地域のコミュニティ作りにも役立ち、安心・安全に過ごせる地域ともなっていきます。そのためには、区としても重点課題として継続して支援していく必要があります。 18年度は、「地域の教育力との協働・連携の推進」「児童館機能の強化と学童クラブ事業の多様化」「学校施設を活用したひろばづくり」とも、計画通り推進できました。	B

今後の取組み・改革の方針

地域の教育力との協働・連携の推進については、連携する団体の実態に合わせるとともに、新たな団体の掘り起こしやプログラム開発のためフォーラムの開催において地域団体間の情報交換を進めます。また、子どもの居場所づくりは、効率的な運営を図るため「総合型地域スポーツ・文化クラブの育成」への事業統合を進めます。児童館機能の強化と学童クラブ事業の多様化については、学童クラブ需要が多く、学区域内に学童クラブがない場合には、余裕教室等の状況を見ながら、学校内学童クラブ事業の実施を目指すとともに、民間学童クラブに対し、その利用実態を検証しながら、必要な助成を継続して行います。また、業務委託実施館では、運営協議会を設置し、利用者や地域の方の意見を反映した運営を行うとともに、地域との連携を図っていきます。学校跡施設を活用したひろばづくりでは、平成19年度に地域のひろばとしての施設利用が開始できるよう、関係部署と調整を図りながら準備を進めていきます。

重点項目を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
地域の教育力との協働・連携の推進	B	67		
児童館機能の強化と学童クラブ事業の多様化	B	37		
学校跡地を活用したひろばづくり	B	121		